

「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名：（１）工事コストの低減 ４）工事実施段階での合理化・規制改革等 ⑰建設副産物対策 】

撤去により生じた路盤材等を有効利用しコスト縮減

工事名：長崎空港エプロン改良外２件工事

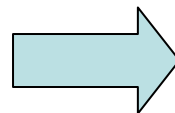
概要：土砂仮置場を確保し、撤去路盤材を仮置、盛土材・路盤材等への再利用目的で存置することにより、処分費及び他工事での購入土砂量を削減した。また、同工事でも積極的に流用を行い、購入土砂量を削減した。

効果：

- 撤去路盤材等の量は約860m³あり、これを処分せず存置及び流用することにより、約3.7百万円のコストを縮減。
- 本工事で撤去材が流用可能な量は約800m³あり、これを購入せず流用することにより、約2.7百万円のコストを削減。

（縮減額 6.4百万円、縮減率 約5.3%）

路盤撤去状況



- ・本工事で流用
- ・存置して次期工事へ再利用